

## オンラインを活用した学習形態の研究

# オンラインを活用した講座の紹介

令和5年11月

さわやかちば県民プラザ事業振興課

### 『はじめに』

令和5年5月に「千葉県生涯学習推進方針」が策定されました。

生涯学習推進の目標は、「社会とつながる生涯学習」～いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができ、その成果を生かして活躍できる生涯学習社会の実現～です。

実現のための視点の一つとして、「ICT活用を含めた適切な方法による学習の推進」(学習に際して課題となる時間や場所等の制約をICT等の活用により軽減させ、いつでも、どこでも学べる環境を整えていく必要があります。これからの学びは、オンラインと対面の組み合わせによってさらに豊かなものとなります。)【第2章2(3)】が挙げられています。

また、県教育委員会教育振興部生涯学習課が、昨年度実施した『生涯学習の状況について(令和4年度第1回インターネットアンケート調査の結果について)』によると、「あなたは、この一年間に、どのような場所や形態で学習をしたことがありますか。」という問いに対して、「インターネット」と答えた方の割合が65.5%と最も多い結果となりました。

学習活動に関するデジタル化やオンライン化の取組みの進展を踏まえ、これまでの集合形式での学習に加え、オンラインを含む様々な方法を、学習内容や目的に合わせて選択するなど、効果的な学習機会の提供が求められます。

### 『オンライン(Zoom)を活用した講座のポイントの整理と紹介』

当所では、これまでオンラインを活用した講座を実施してきましたが、「千葉県生涯学習推進方針」の策定を受け、今年度改めてポイントの整理や実施方法のまとめを行いました。

オンラインを活用した講座の配信方法には、一般的に以下の3つの方法があります。

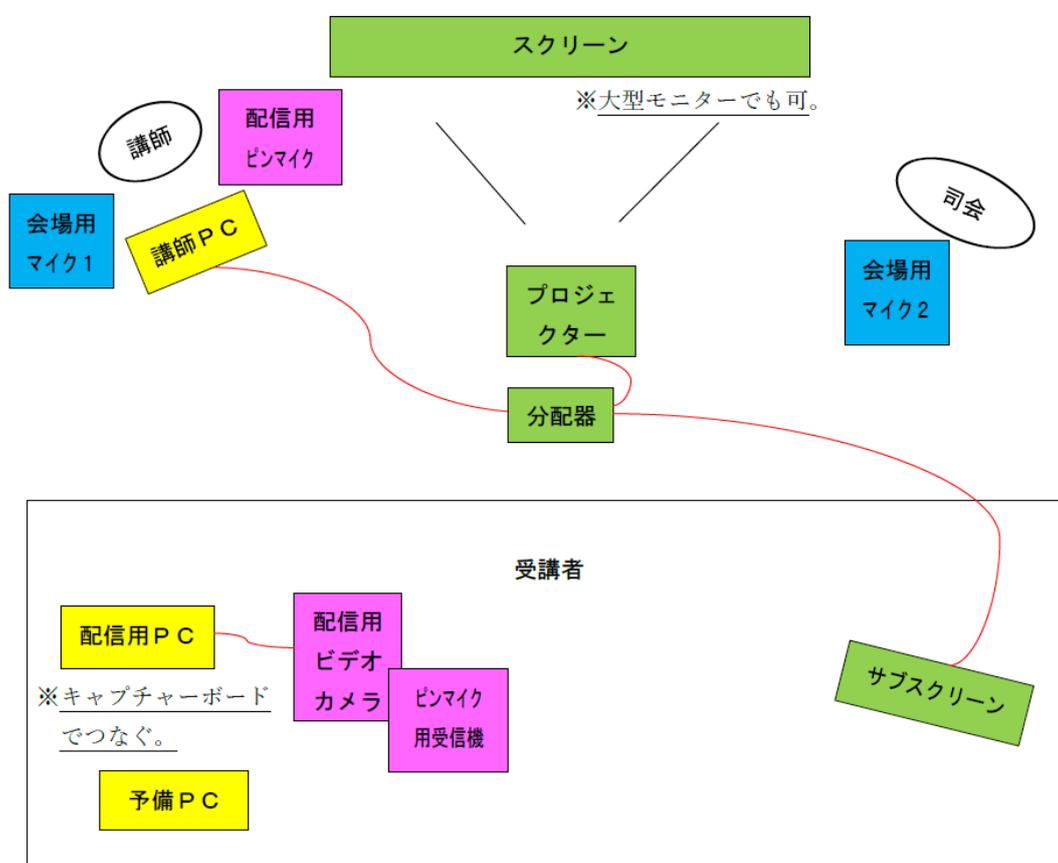
| ライブ配信              | アーカイブ配信                                    | オンデマンド配信               |
|--------------------|--|------------------------|
| リアルタイムの映像を生配信すること。 | ライブ配信された映像と全く同じものを、生配信の終了後でも見られるように配信すること。 | あらかじめ収録・編集した映像を配信すること。 |

当所では Zoom を活用したライブ配信による講座を実施しています。その中でも、実際に実施している講座には、さらに以下の3つの方法があります。

| 当所で実施している Zoom を活用したオンライン講座 | ポイント  |
|-----------------------------|---|
| ア. オンライン (Zoom) による講座       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い地域からの参加が可能である。</li> <li>・移動にかかる時間の短縮や交通費の削減ができる。</li> <li>・講義が中心の講座を実施する場合に適している。</li> </ul>         |
| イ. 対面とオンライン (Zoom) を併用した講座  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者の要望や都合に応じて選択することができる。</li> <li>・幅広い地域からの参加が可能である。</li> <li>・講義の他に実習を実施する場合に適している。</li> </ul>         |
| ウ. サテライト配信 (Zoom) を行っている講座  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン配信では受講できない方が受講できる。</li> <li>・生涯学習センターや公民館の来館者数が増える。</li> <li>・講座を複数の場所で同時に実施する場合に適している。</li> </ul> |

ここからは、当所で実施している Zoom を活用したオンライン講座の紹介をします。(別表)

### 「サテライト配信 (Zoom) の本会場イメージ (例)」



## 「機材の写真（一部）」

【ピンマイクおよび受信機】



【キャプチャーボード】



【分配器】



## 「対面とオンライン（Zoom、サテライト配信を含む）を併用する際のポイント」

- ・配信用にピンマイクを用意し、講師につけていただくことで、配信先によりクリアな音声を届けることができる。

【ピンマイク】



【受信機】



- ・配信用ビデオカメラと配信用パソコンをキャプチャーボードでつなぐことで、配信用ビデオカメラで撮影した映像を配信用パソコンに取り込んで、配信することができる。

【ビデオとパソコンをキャプチャーボードでつなぐ】



- ・予備用のパソコンにイヤホンを接続しておくことで、本会場でも配信先の音声の確認をすることができる。また、配信先の担当者からの連絡を音声で受けることができる。

## 『おわりに』

オンラインを活用した講座の実施方法には、今回紹介した方法以外にも様々な方法があります。例えば、当所では現在アーカイブ配信は実施していませんが、受講者からは問い合わせもいただいております。検討していく必要があります。ライブ配信についても、Zoom以外のアプリもあり、内容によって選択していくことも大切と考えています。

また、今回紹介した方法でもさらによりよい方法も考えられるため、常にアップデートしていく必要があります。

今後も、「いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができ、その成果を生かして活躍できる生涯学習社会の実現」を目指し、オンラインを活用した講座のよりよい実施方法を考えていきたいと思っております。